

現場実態を把握していない支社側に対し 現場との連携・教育の実施を強く求める

申9号・簡易型乗用除雪機械「とらん丸」に関する申し入れ団体交渉

新潟地本は2月25日、申9号・簡易型乗用除雪機械「とらん丸」に関する申し入れの団体交渉を行いました。

今冬期より導入された簡易型乗用除雪機械「とらん丸」について、現場で取り扱ったことを見受けられた不明な点を解消し、現場社員が安全に取り扱える運用や教育の実現を求めて交渉を行いました。

支社側は「とらん丸」の基本的な活用方法について、①列車が駅間で雪を抱えて停車した時の除雪、②そのような機会は少ないため車両センター構内等の除雪に活用、③その他必要な場面での使用が目的であるとしました。

「とらん丸」を取り扱う可能性のある全社員に取扱いを含めた教育を確実に行うよう求め、実施したとの回答を受けました。

「とらん丸」の下部限界を把握し、講習会をするかどうかは別として、実態を把握し、足りなければ冬のカリキュラムにも盛り込んで運用していくと回答しました。



支社側は「とらん丸」の0幅でしか除雪ができないことから、列車を動かさず雪の逃げ場がなくまた止まると主張しましたが支社側は、動かせるという判断基準であり、現場に伝わっていないのであれば伝えるとしました。

「とらん丸」を取り扱う可能性のある全社員に取扱いを含めた教育を確実に行うよう求め、実施したとの回答を受けました。

「とらん丸」の下部限界を把握し、講習会をするかどうかは別として、実態を把握し、足りなければ冬のカリキュラムにも盛り込んで運用していくと回答しました。

団体交渉での問題解決は労働組合だけ 新潟支部 第5回定期支部委員会

新潟支部は3月23日、新潟駅大会議室において第5回定期支部委員会を開催しました。

110名を超える組合員が結集し熱気ある委員会となりました。質疑では11名の委員から職場での実践に基いた発言があり、第6回定期大会から途切れることなく職場や系統を越えて議論を重ね、全組合員で具体的に行動し、職場で発生する問題の解決を目指してきた取り組みの成果、教訓と課題が語られました。



第5回定期支部委員会

「究極の安全」を掲げていますが、現場で働く社員の疑問や不安の声に耳を傾けず、現場の問題点から目を背けている現実が浮き彫りになりました。一方で、職場で発生する

問題に対し、働く者の声を聞き、団体交渉を通じて問題を解決できるのは労働組合だけだということを組合員で確認出来た委員会となりました。

今年度、新潟支部内で3名の仲間が新たに加わってくれたことも私たちのたたかひの成果として大きな自信となりました！

(新潟支部 投稿)

が低く、段差があると踏切から線路に乗ることができないため、載線出来る踏切が明確になっているのか質しました。

支社側が、本線上に段差はなく全部の踏切から載線出来るとしたため、踏切に行くまでの傾斜で車体がかえて行けない場合があることを指摘すると、その観点は不足しており確認する必要があるとしました。

ていた声であり、なぜ支社として把握していなかったのかと強く指摘し、道路の交通整理や載線など、行うのはすべて現場であり、その思いを会社幹部は理解しなくては駄目だと訴えました。

載線可能、不可能の踏切を次の冬期までにはつきりさせるよう求め、支社側も了解としました。

新潟地本のホームページ アドレスが変わりました!



http://niigatachihon.yukigesho.com/

年寄りか千〇元気になる飲み会2019 シニア組合員の繋がりをより強く!

昭和採用連絡会は3月30日、新潟駅前「UKテラスBAR」というちょっとお洒落なところで、40名のシニア組合員、OB参加のもと「年寄りか千〇元気になる飲み会2019」を開催しました。

楽しい時間を過ごすとともに、日頃のお互いの近況を含め様々な情報交換が出来て大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。

今年度新たにエルダーとなる組合員の皆さんからもご挨拶いただき、参加者全員で激励することができました。

60歳以降の再雇用は年々厳しさが増してきていますが、問題点の改善に向けてシニア組合員のまとまりが必要不可欠になってきます。

この「元気になる飲み会」は昨年9月に引き続き

(酒田地区分会 投稿)

組合員全員で問題意識を共有 酒田地区分会第2回定期総会

3月8日に酒田地区分会として第2回目となる定期総会を開催しました。佐藤分会長から組織拡大、春闘、自分と組織の将来を見据えた議論と行動をとるの挨拶がありました。

新潟地本からも来賓を迎え、粉川地本副委員長からは組織拡大と地方委員会・春闘総決起集会の取り組み、会社施策のあり方と現状についての挨拶を受けました。

質疑では、参加した分会全組合員による発言で総会は盛り上がりました。発言内容は、運転士の人事交流問題、組織拡大、春闘の取り組み、分会事務所の活用、エルダー社員制度



酒田地区分会第2回定期総会